

報告書

決裁 平成 年 月 日	起案者 財政経営部 管財課 公共財産保全係 印			
起案 平成30年 1月25日				
部長	課長	課長補佐	係長	係員
事業名	新庁舎建設検討委員会 視察研修			
日時	平成30年1月24日(水) 8時30分から17時30分まで			
場所	神奈川県 茅ヶ崎市・平塚市			
出席者	別添 参加者名簿のとおり			

【報告事項】下記のとおり視察研修に参加しましたので報告いたします。

1 神奈川県茅ヶ崎市役所 (平成28年2月完成 人口24万人)

※施設概要等の資料については別添参照

【設計・監理：株式会社大場設計】

【施行：戸田建設・亀井工業特定建設工事共同企業体】

●施設概要

【構造】鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)、免震構造

【階数】地下1階、地上7階

【延床面積】20,180.20㎡

【総工費】74億5千万円

(内訳) 基金約14億円、起債約38億円、一般財源20億円、交付金2億円

●その他、個別聴取事項

- 平成22年耐震診断再検査の結果 IS値0.25 と診断されたため本格的に建直しに向けて動き出した。補強工事という選択もあったが、コストや将来性を考慮し建替えに決定した。
- 基本計画の策定に向けて、新庁舎建設検討会議を組織(部長級)。下部組織に幹事会(課長級)、作業部会(担当レベル)を立ち上げ検討を行った。
- 労務単価や建設資材の高騰が著しい。茅ヶ崎市でもその影響により補正措置を実施した。
- 引っ越しに係る備品更新に全体で3.5億円程度かかっている。また、引っ越し代で2.8億円程度費用負担をしている。
- 庁内の環境整備でエコボイドという設備を取り入れているが、空気の循環と光を取り入れる点では優れているが防火シャッターを余計に整備したりと経費はかかっている。
- 庁舎跡地の一部を定期借地して民間に貸出しを行う予定としており、過大な建設費用の負担軽減をする予定としている。

- ・議場については年4回の議会時だけ使用するの非効率であるため、一般開放し市民への解放もしている。
- ・庁舎のまわりは、SRCの構造となっているが、庁舎内の柱などはS造としコスト削減を実施した。
- ・各執務スペース内にある文書保存用鉄庫の上を打合せスペースにするなど、可能な限り工夫し延床面積の増大を抑制している。
- ・茅ヶ崎市では屋外倉庫がないが、実務上をあつた方が便利であると感じた。

2 神奈川県平塚市役所（平成29年12月完成 人口26万人）

※施設概要等の資料については別添参照

【施行：竹中・成瀬特定建設工事共同企業体】

●施設概要

【構造】鉄骨鉄筋コンクリート造、免震構造

駐車場棟 鉄骨コンクリート造 耐震構造

【階数】地下2階、地上8階

【延床面積】26,000㎡（平塚市分）

【総工費】128億円（平塚市分）

（内訳）基金約65.3億円、起債約60.8億円、交付金1.4億円

●その他、個別聴取事項

Q：平成17年度くらいからトントン拍子に進んでいるが反対運動等なかったのか？

A：当市ではそのような運動はなかった。議員に対しても逐一説明を実施してきた。

Q：設計は市内を含む近隣を対象に依頼したのか？広く全国に募集したのか？

A：公募型プロポーザルで全国を対象に広く募集を行った。

- ・平塚税務署と合築した全国初の取り組みとなっている。国とは法律や仕組みが異なるため調整に苦労したが、最終的には委託をしてもらう形となった。
- ・設計コンセプトは「公園のような庁舎」「サステイナブル建築」「グリーン庁舎」
- ・PFIも検討したが、従来方式（直営方式）にて事業手法を決定した。
- ・公用車駐車場は、庁舎から北へ直線で200mにある国有地を借りている。
- ・庁舎セキュリティを高めるために、職員身分証明書のICカード化を図った。
- ・議会システムの導入（採決システム、ケーブルテレビ・インターネット中継用設備）
- ・移転費用は移転監理も含めて委託としているが、概算で4.5億円かかっている。
- ・苦慮した点は、もともと海軍施設跡地であったので土壌汚染対策及び地中障害物対策。また、仮設庁舎を建築せず駐車場跡地を利用し工事を継続しながら着工していたので騒音対応が大変であった。
- ・議場はイギリス方式を取り入れ、横向きの建築とした。特別傍聴席を2室設けた。
- ・レストラン、ショップについてはプロポーザルにて募集して配置している。
- ・会議室については、土日など市民も利用可能としている。